資料1

道内の感染状況等について（案）

【令和4年3月2日】

主な指標の状況

3／1	レベル	移行指標 病床使用率	移行指標 重症病床使用率	移行指標 10万人当たり新規感染者数	移行指標 10万人当たり療養者数	その他指標 新規感染者数今週先週比	その他指標 感染経路不明割合	その他指標 PCR陽性率
全道	2	37.7%（783床）↗	3.7%（5床）↘	286.1人/週（14959人/週）↘	459.4人（24022人）↘	0.82 ↘	62.6% ↘	32.8% ↗
札幌市	2	44.9%（284床）↗	11.1%（5床）↗	389.8人/週（7646人/週）↘	519.7人（10194人）↘	0.79 ↘	81.9% ↗	41.9% ↗
札幌市を除く地域	2	34.6%（499床）↘	0.0%（0床）↘	223.8人/週（7313人/週）↘	423.2人（13828人）↘	0.86 ↘	42.5% ↘	26.7% ↗

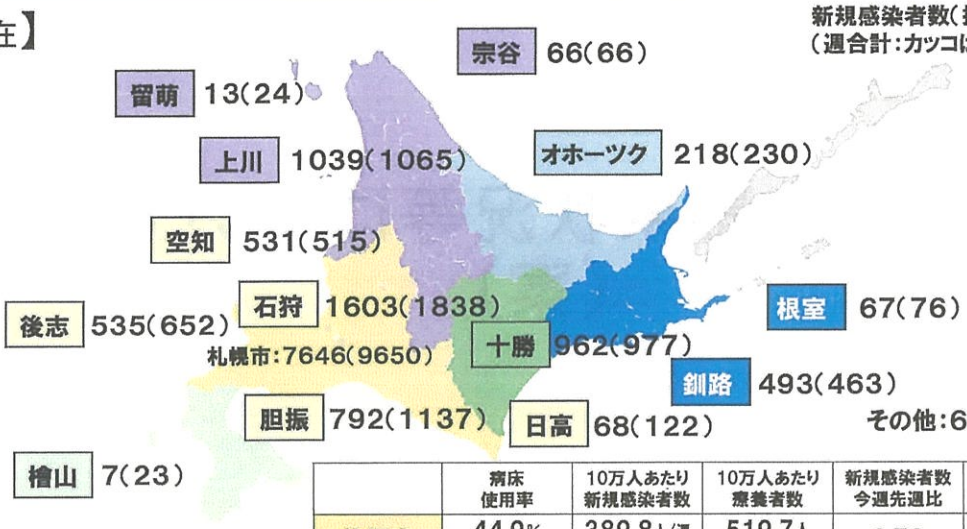
レベル２ 移行指標	20% 又は 20%	15人/週	20人
レベル３ 移行指標	50% 又は 50%	－	－

※（　）は実数。
※各指標の動向（矢印）は、１週間前との比較。
※現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は高い数値となる可能性がある。

地域における主な指標の状況

【3/1現在】

新規感染者数（振興局別）
（週合計：カッコは前週の新規感染者数）



	病床使用率	10万人あたり新規感染者数	10万人あたり療養者数	新規感染者数今週先週比	感染経路不明割合	PCR陽性率
札幌市	44.9%（284床）	389.8人/週（7646人/週）	519.7人（10194人）	0.79	81.9%	41.9%
道央圏（札幌市除く）	44.2%（202床）	260.7人/週（3529人/週）	611.8人（8280人）	0.83	48.9%	29.4%
道北圏	31.4%（95床）	189.4人/週（1118人/週）	308.9人（1823人）	0.97	35.1%	14.4%
道南圏	25.5%（53床）	207.1人/週（866人/週）	377.9人（1580人）	0.65	22.5%	29.5%
十勝圏	58.0%（87床）	287.4人/週（962人/週）	365.7人（1224人）	0.98	49.2%	58.3%
オホーツク圏	14.5%（17床）	79.7人/週（218人/週）	97.6人（267人）	0.95	25.7%	15.8%
釧路・根室圏	21.6%（45床）	188.6人/週（560人/週）	220.2人（654人）	1.04	41.6%	38.5%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

総　評①

【医療提供体制】

○ 全道の療養者数は2月12日以降、減少傾向が継続している。一方、病床使用率は増減し、高止まりの状況が続いている。特に札幌市を含む道央圏及び十勝圏では、病床使用率が全道を上回り、全体を押し上げているほか、その他の圏域においても、増減しながら、横ばいで推移している状況。また、引き続き、全道各地において医療機関等での集団感染の確認が続いている。

【感染状況】

○ 全道の新規感染者数は、減少傾向が継続しているものの、全ての振興局管内で感染の確認が続いており、直近1週間においても1日平均で2千人を超えている。

○ 年代別では、30代以下、60代以上ともに減少している。

○ 3月1日、道内において、オミクロン株のBA.2系統(※)の感染事例が初めて確認された。

※BA.2系統はこれまでのBA.1系統との比較において、実効再生産数及び二次感染リスク等の分析から感染性がより高いことが示されている。（令和4年2月24日新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード）

【今後の対策①】

○ 引き続き、3月6日までの間、まん延防止等重点措置の下、全道において、感染リスクが高まる場面や感染が広がっている場所における感染防止行動の徹底を図る。

○ 今後、就職や卒業・進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクの高まる時期を迎えることから、こうした場面における対策の徹底を呼びかける。

○ 道立衛生研究所等におけるゲノム解析の実施など、BA.2系統を含め、高い警戒感をもって、新たな変異株の動向の監視を継続する。

総　評 ②

【今後の対策②】

○ 国の分科会は、まん延防止等重点措置について、①新規感染者数が継続して減少しているか、低位の水準にあること、②病床使用率が概ね50%を下回っており、下降傾向にあることといった解除の考え方を示している。本道においては、急拡大してきた新規感染者数は減少傾向となっているが、病床使用率の減少傾向が見られていない。

○ また、道内でもBA.2系統の感染が初確認され、国の専門家によると、今後BA.2系統に置き換わることで新規感染者数が再度増加に転じることが懸念されており、予断を許さない状況が続いている。

○ こうした状況を踏まえると、3月6日をもって、まん延防止等重点措置を終了できる状況とは言えず、新規感染者数をさらに減少させ、医療への負荷を着実に抑えていくため、国に対し、全道を対象とした重点措置の延長を要請する。

○ 国において延長が決定された場合、延長の期間において、感染防止対策と社会経済活動の回復の両立に向け、次の取組を集中的に進める。

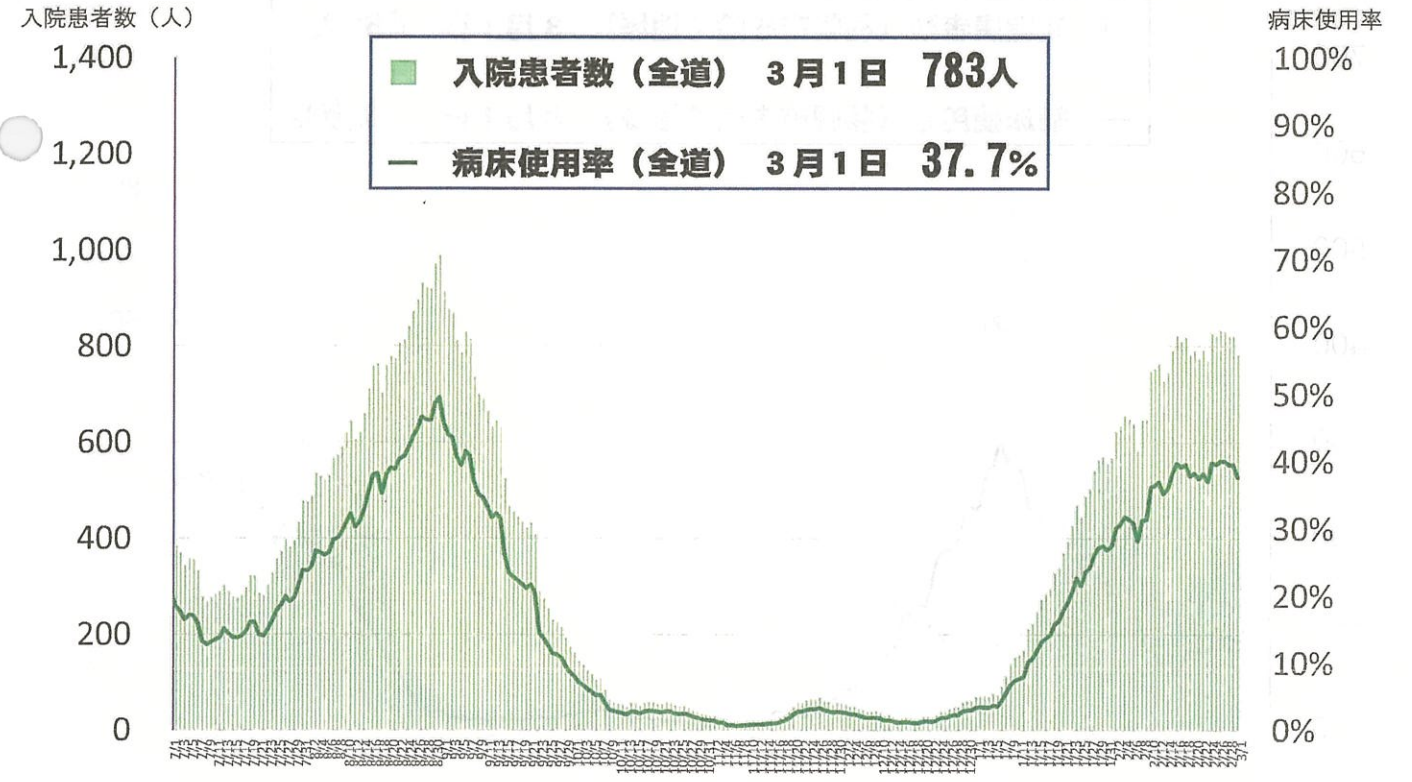
① 道の集団接種会場の活用を含め、市町村による接種や職域接種の支援によるワクチンの追加接種の加速化

② 病床の確保や経口治療薬を提供する医療機関の拡充など、必要な方を確実かつ適切に医療につなげていく体制の強化

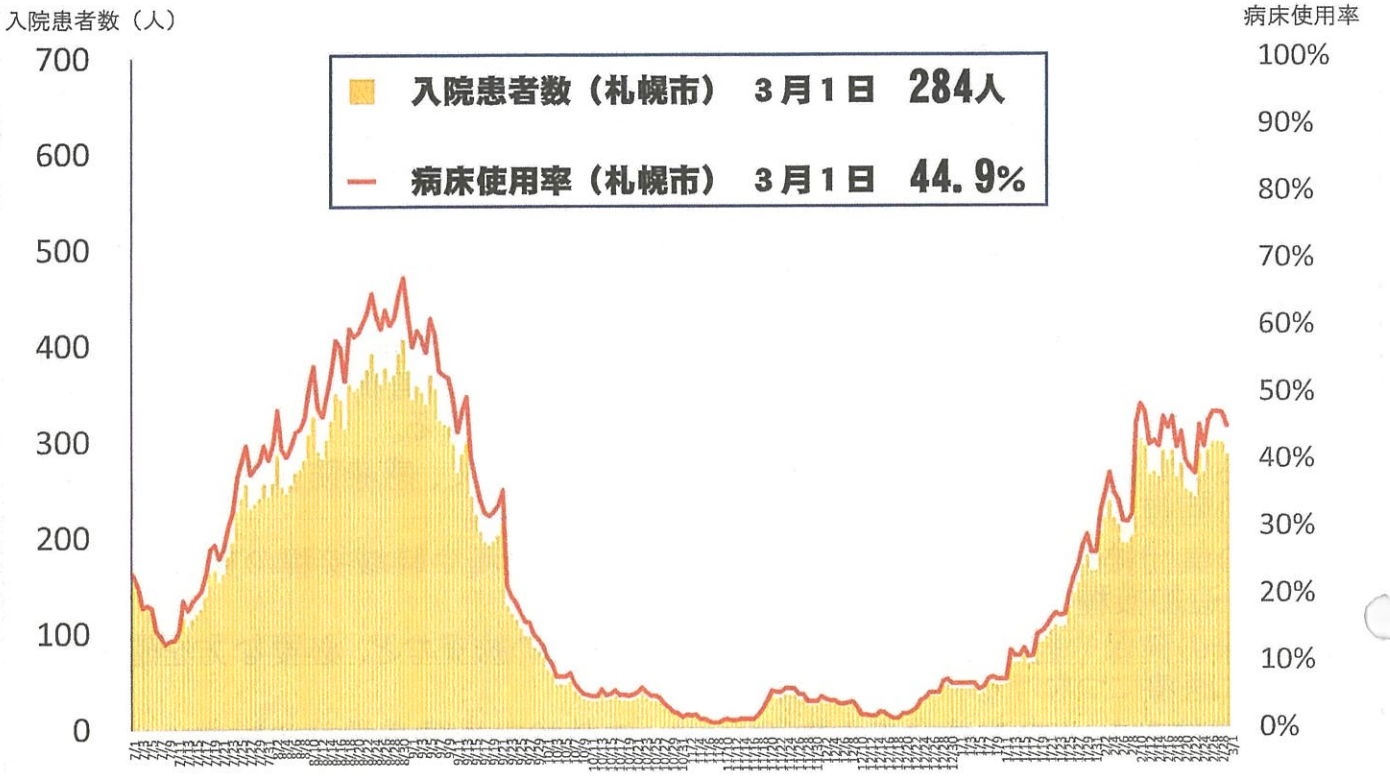
③ 抗原検査キットの流通状況を確認しつつ、無料検査登録事業所の拡充

④ 新たな行動制限の緩和に向けた国の分科会の議論を踏まえた第三者認証の取得の促進

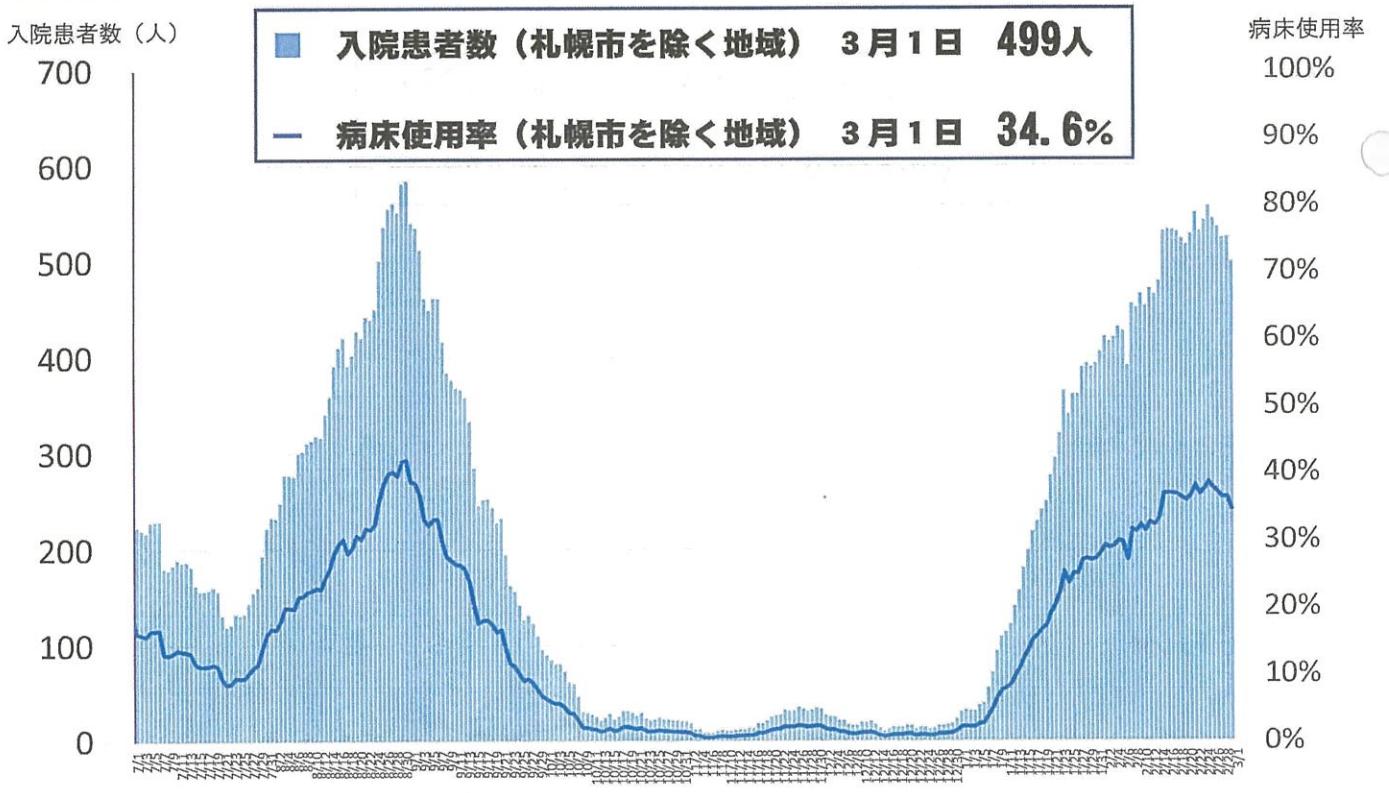
入院患者数と病床使用率（全道）



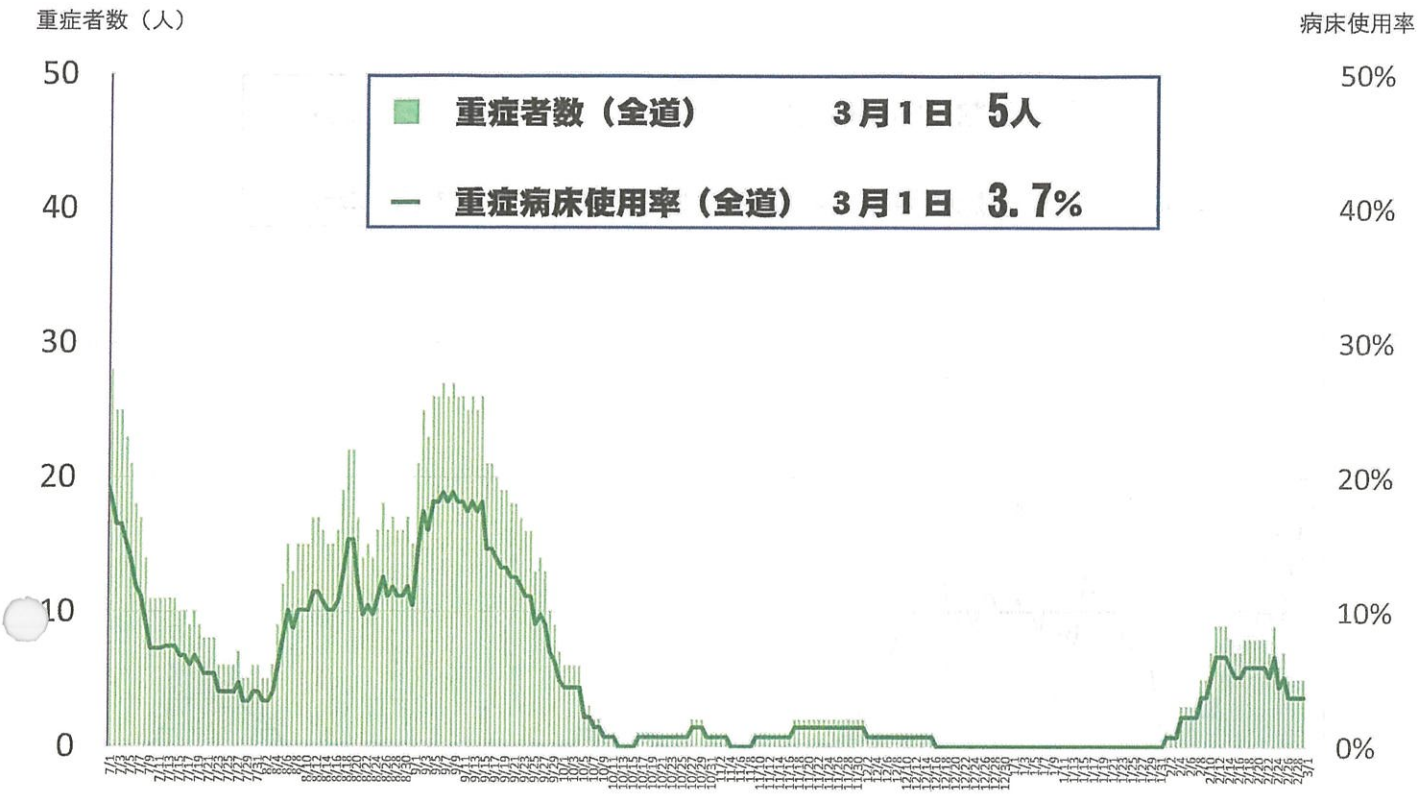
入院患者数と病床使用率（札幌市）



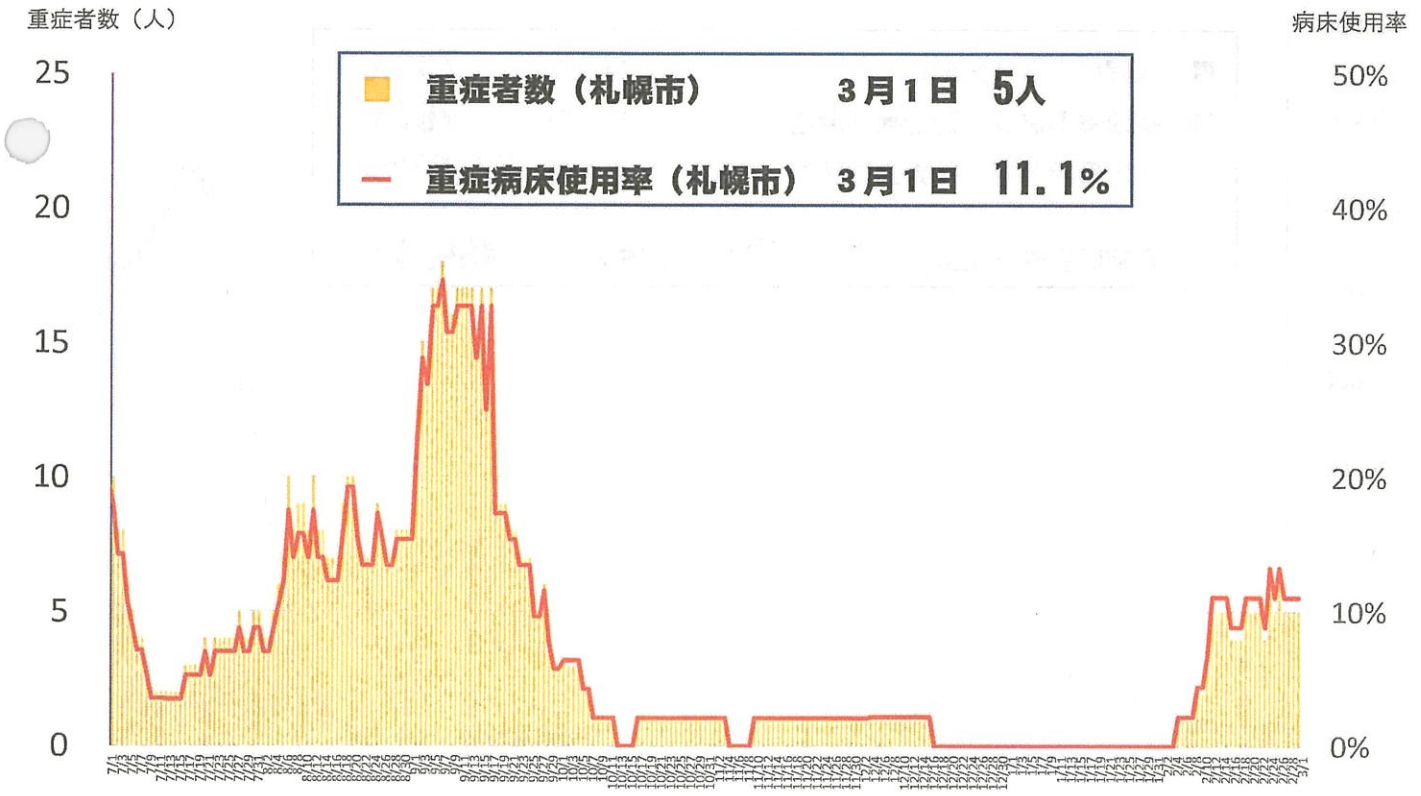
入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）



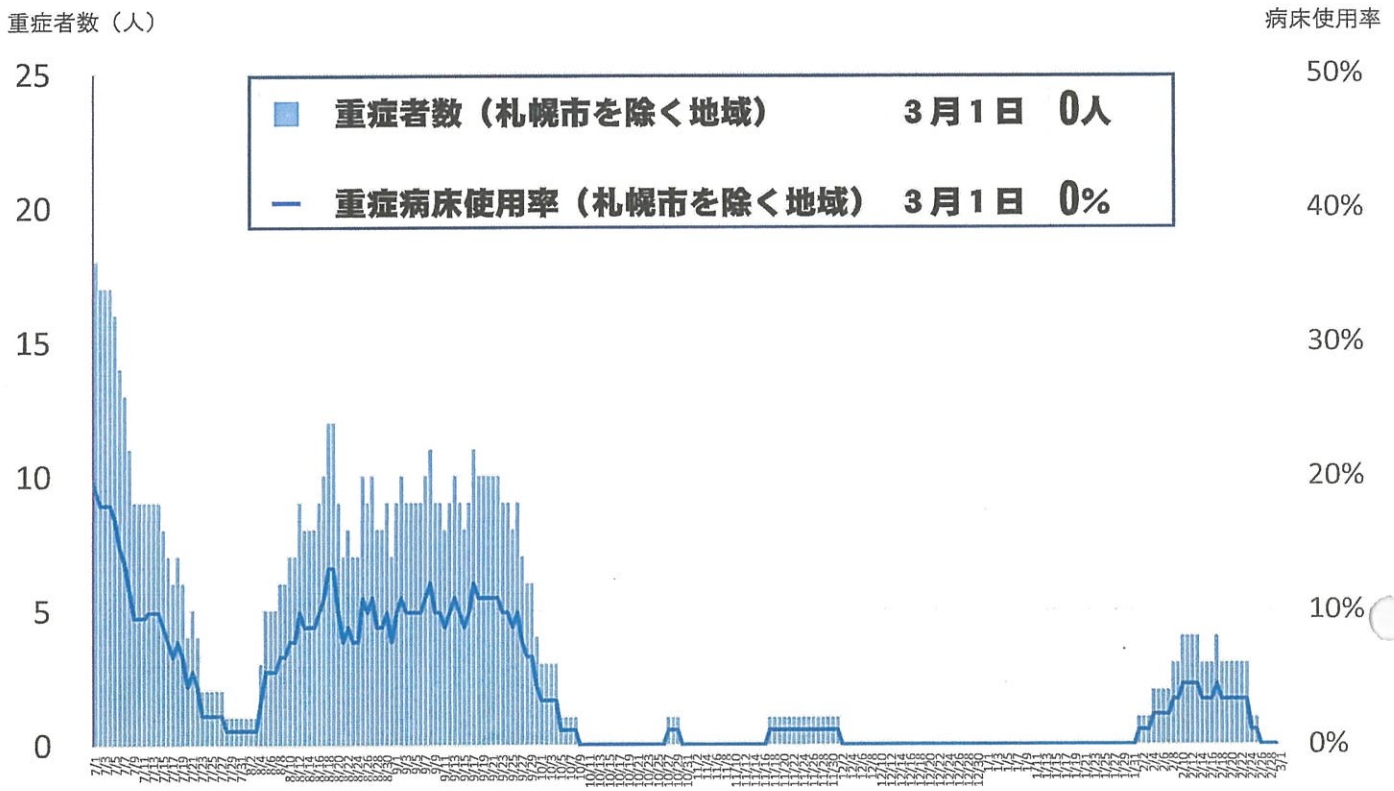
重症者数と重症病床使用率（全道）



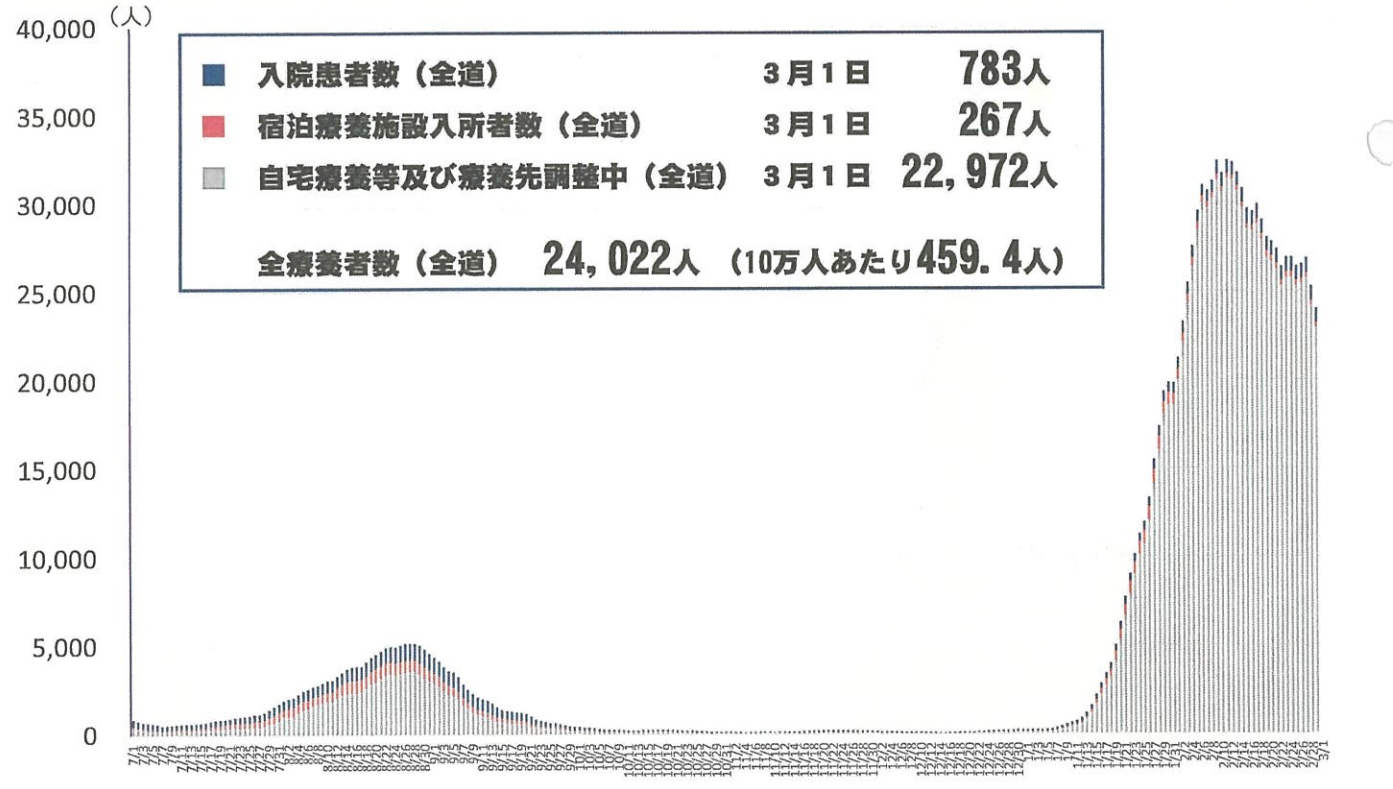
重症者数と重症病床使用率（札幌市）



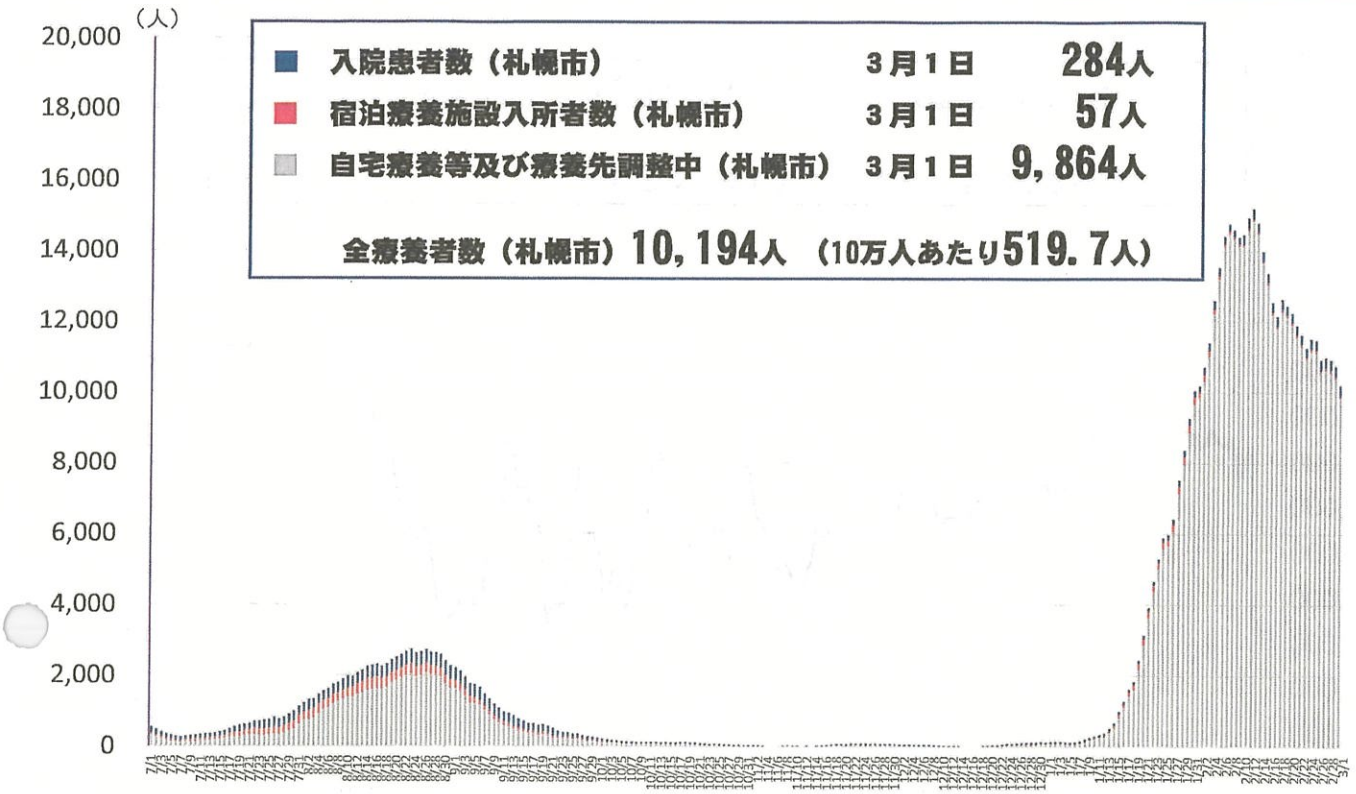
重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）



療養者数（全道）

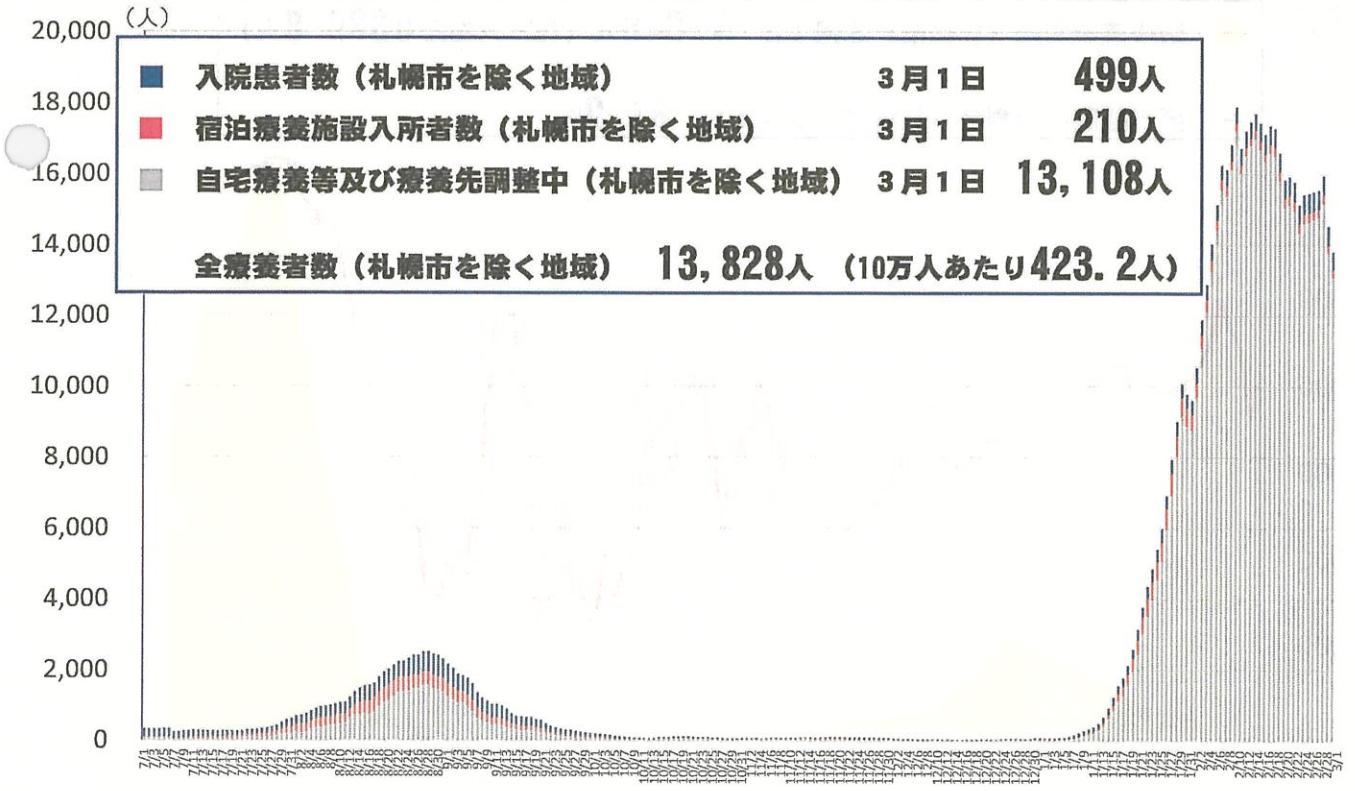


療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

療養者数（札幌市を除く地域）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。